

科目名	会計の基礎				担当者	ナガノ野篤						
区分	選択	1	単位	授業回数	8	回	授業形態	講義	学年	1年	開講期	後期
				授業時間数	16	時間						
教員との連絡方法 質問等の受付方法	オフィスマナー、電子メール・電話での連絡方法については初回時 Classroom を通じて知らせる。											
専門的 学習成果	①	経営活動を会計の視点から捉え、基礎的な専門知識を用いて説明できる。										
	②	会計用語や基本概念を理解し、簡単な取引や経営状況を整理できる。										
	③	経営の意思決定のしくみを通して、会計と経営の関係を実践的に理解できる。										
	④	習得した専門知識を用いて、経営や業務の基礎的な判断ができる。										
汎用的 学習成果	(1)	経営や学習の場面において課題を見出し、その解決方法を考察できる。(専門的学習成果③④に関連)										
	(2)	他者の意見を踏まえながら、自分の考えをまとめて行動できる。(専門的学習成果①②③④に関連)										
	(3)	学習内容を自分の言葉で整理し、場面に応じて分かりやすく表現できる。(専門的学習成果①②③に関連)										
	(4)	経営・会計を学び続ける姿勢をもち、身につけた知識や技能を社会に生かすことができる。(専門的学習成果②③④に関連)										
授業概要	本科目では、会計を単なる計算技術としてではなく、経営活動を理解するための共通言語として捉えることを目的とする。経営活動の実際を通して、取引・利益・資産・負債の関係を体験的に理解し、基本的な会計用語や財務諸表の仕組みを説明できることを目標とする。簡易的な経営シミュレーションを用いながら学習を進める。学生は仮想的な経営活動を行い、その結果を簿記・会計的に整理・分析することで、経営と会計のつながりを段階的に理解していく。											
評価方法 基準等	学習成果	種別	割合 (%)	評価方法・基準								
	専門的 学習成果	定期試験										
		小レポート	64	課題に対するレポートを作成する [8回、各200文字]								
		発表	10	企業経営と会計の結びつきについて発表する。								
		平常点	26	授業への協力的・協動的・積極的な貢献によって評価する。								
汎用的 学習成果	(1) は専門的学習成果③④で評価を行う。 (2) は専門的学習成果①②③④で評価を行う。 (3) は専門的学習成果①②③で評価を行う。 (4) は専門的学習成果①②③④⑤で評価を行う。											
テキスト 等	著者・編集者名		書名						出版社名			
参考書 参考文献	著者・編集者名		書名						出版社名			
	登川雄太		『世界一やさしい 会計の教科書 1年生』						ソーテック社			
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等		① 会計は計算や用語を覚えること自体が目的ではなく、経営活動や社会の仕組みを理解するための「共通言語」である。本授業では、経営シミュレーションを通して会計の考え方に触れるため、日常の経済活動やニュース、身近な店舗や企業の動きなどを、会計の視点から捉える意識をもって授業に臨んでほしい。 ② 授業では、会計用語や基本概念を段階的に学習し、それらを経営活動の流れの中で理解していく。事前学習として、配布資料や指定された内容に目を通し、用語や仕組みの概要を把握してから授業に参加すること(予習:週1時間程度)。事後学習としては、授業内で扱った内容や演習結果を振り返り、会計と経営の関係を整理すること(復習:週2~3時間程度)										

授業計画			学習成果の評価
1回	授業内容	会計と経営の関係を学ぶためのイントロダクションを行う。	小レポート①
	学習成果	会計が経営活動に必要な理由を説明できる。	
	予習復習の内容	配布資料を読み授業全体の流れを整理する。	
2回	授業内容	取引の考え方と会計に関する基本用語を学習する。	小レポート②
	学習成果	取引と会計用語の関係を理解できる。	
	予習復習の内容	会計用語の意味を確認し内容を振り返る。	
3回	授業内容	仕訳の基本と簿記の五要素について学習する。	小レポート③
	学習成果	基本的な仕訳の考え方を理解できる。	
	予習復習の内容	仕訳例を確認し会計の考え方を整理する。	
4回	授業内容	簡易的な経営シミュレーションを用いた演習を行う。	小レポート④
	学習成果	経営活動を会計の視点から捉えることができる。	
	予習復習の内容	演習内容を振り返り結果を整理する。	
5回	授業内容	経営活動と損益の考え方について学習する。	小テスト⑤
	学習成果	利益と費用の関係を会計的に説明できる。	
	予習復習の内容	授業資料を確認し損益の考え方を復習する。	
6回	授業内容	貸借対照表の基本構造と役割について学習する。	小レポート⑥
	学習成果	資産・負債・純資産の関係を理解できる。	
	予習復習の内容	図表を用いて貸借対照表の構造を整理する。	
7回	授業内容	決算書を踏まえた経営シミュレーション演習を行う。	小レポート⑦
	学習成果	会計情報を基にした経営判断ができる。	
	予習復習の内容	演習結果を振り返り判断の理由を整理する。	
8回	授業内容	会計と経営の関係を総合的に整理しまとめる。	小レポート⑧ 発表
	学習成果	会計の基礎を用いて経営を説明できる。	
	予習復習の内容	授業全体を振り返り理解をまとめる。	
9回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		
10回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		
11回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		
12回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		
13回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		
14回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		
15回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		